

今月の特集：高等部 1 年校内実習 ～身に付けたい力～

高等部では、6月12日（月）から2週間、1年生は3グループに分かれての校内実習、2年生3年生は第1期現場実習を行いました。今回は、高等部1学年主任の泉教諭に、初めて実習に臨んだ「高等部1年生校内実習」のねらい、身に付けさせたい力、作業内容や事前学習について教えていただきました。

＜高等部1年校内実習のねらい＞

- ・働くための基礎的な力（集中する、意欲をもつ、持続する、環境に適応する）等を高める。
- ・いくつかの作業種の中から、自信をもってできる仕事や得意不得意を見つけたり知ったりする。


3グループ共通の作業：手帳分別（スケジュール帳をカバー、冊子、しおり、短冊など、種類ごとに分別）

○グループや個々に応じて、身に付けたい力や目的を考えた取り組み

	＜一般就労を目指すG＞	＜一般就労や福祉的就労を目指すG＞	＜福祉的就労を目指すG＞
	立位	立位	立位または座位（実態に応じて）
分別方法	・分別しやすいかごの選択 ・ <u>効率、仕事のしやすさを考えた分別</u>	・用意したかごや仕切りを使い、その中で <u>仕事のしやすさを考えた分別</u>	・用意されたかごや仕切りを用いた分別 ・ <u>写真を用いた視覚的支援を用いた分別</u>
主に力を入れたこと	同じ仕事を一定時間続ける力（持続力）		
	・丁寧に正確に取り組む力をつける。 （紙の破り方に注意する。取り残しがないようにする。） ・立ち仕事後の休憩の取り方を考える。 ・報告は上司（先生）の所に立ち止まって行う。 （「ながら報告」はしない。）	・立ち仕事の姿勢を持続する力をつける。 （肘をつかない。よりかからない。） ・基本的な報告や質問の仕方を身に付ける。 ・決められたスペースの中、与えられた道具での仕事の仕方に慣れる。	・必ず報告をする。 （実態に応じた報告の仕方） ・作業の流れを覚えて、できるだけ一人で取り組む力をつける。 （作業→報告→確認をしてもらう→袋に入れる→出来高シールを貼る） ・時間いっぱい取り組む。（話をしない。実態に応じて短時間休憩をとる。）

その他の仕事（3グループにわかれて）

手帳分別以外にも取り組み、自分が自信をもってできる作業、得意不得意の作業を見つけました。

＜一般就労を目指すG＞	＜一般就労や福祉的就労を目指すG＞	＜福祉的就労を目指すG＞
洗濯作業 （特体連体育大会で使用したゼッケンのピン外し、取り付け、洗濯、アイロンがけ等の仕事） ＜身に付けたい力＞ 体を動かしながら行う力、器具を扱う力、手先を使う力 エコバック作り （新聞紙等を使用して、分業しながらエコバックの制作） ＜身に付けたい力＞ 工程に沿って制作する力、道具の扱い力、指先を使う力	農作業 （高等部農園芸班の畑の水やり、除草、種まき、収穫） ＜身に付けたい力＞ 外作業の力、体を動かしながら行う力 ゴミ箱折り、納品作業 （広告紙等を使用して、給食や作業学習等で使用するゴミ箱折り、それらを数え、箱詰め） ＜身に付けたい力＞ 手先を使う力、丁寧に取り組む力	ペットボトル分別 （ペットボトルの洗浄、分別） ＜身に付けたい力＞ 手先を使う力、同じ作業を繰り返す力 

高1校内実習の事前学習では・・・ (特に心がけてほしいこと)

① **一生けん命**に働く
(集中、やる気)

② **働く態度**に気を付ける
(あいさつ、話の聞き方、返事、声の大きさ)

③ 身だしなみを**清潔**にする

④ **仕事**を続けるために
生活の仕方に気を付ける
(睡眠時間、朝ごはんを食べる、体を動かす)

校内実習参観者の感想から

息子の意外な一面が分かり、うれしかったです。
集中して頑張っている姿が見られて良かったです。

実態に合った作業の進め方だと思いました。
コース別になる大きな意味を感じました。



<進路指導部 卒業生支援係から>

「同窓会」・・・夏休み 卒業生が本校に集まります！

7月30日(日)本校食堂にて、卒業生が集う「同窓会」を計画しています。それぞれの職場で頑張っている卒業生にとって、毎年恒例の同窓会の日を心待ちにしている方がたくさんいます。同窓会の活動の様子については、次号の進路だよりで報告したいと思います。

「障害者就業・生活支援センター なかま」とは・・・

卒業後、求職活動の支援や職場定着支援をしてくださる機関です

「一般企業で働きたい」という希望のある方からの相談を受けて、雇用・福祉・教育などの関係機関と協力しながら、一般企業へ就業し、長く働き続けるためのサポートをしてくださる機関です。本校では、企業就業を希望する生徒が高等部3年生の夏に登録しています。卒業後、職場訪問や電話での状況確認を行い、必要に応じて、本人や会社からの相談に応じてくださいます。また、必要に応じて生活の相談もでき、本校とも連携しているので、卒業生にとって、とても心強い機関です。